

# ワーク・ライフ・バランスで イキイキ企業づくり

企業力を高める子育てしやすい職場環境づくり



宮津市

# 01

WORK & LIFE

## ワーク・ライフ・バランス **WLB** とは？

### 仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) とは

私たちがやりがいや充実感を感じる働き方をしながら、子育て・介護の時間や地域活動、自分のための学び等、「自分のやりたいこと」に必要な時間を使えることです。仕事以外の生活が充実した社員の成長は、企業の業績にも反映され、社会全体の経済活動が活発になる、そんな win-win-win の関係を作ります。

#### ワーク・ライフ・バランスの誤解

家族のことを大切にしないといけないからほどほどに働くこと？  
働く時間とプライベートの時間を同じくらいにすること？  
ではありません。



LIFE



WORK

# 02

WORK & LIFE

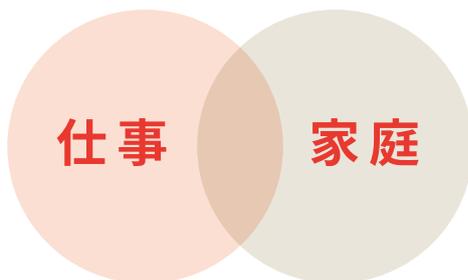
## 真のワーク・ライフ・バランスとは

### 今までの考え方

ワーク・ファミリー・バランス

対象：育児、介護中の人

家庭のある人と独身者の対立構造を作り、業績にマイナス効果

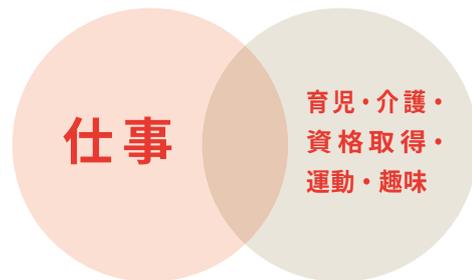


### 真の考え方

ワーク・ライフ・バランス

対象：社員全員

私生活の経験や学びが仕事のアイデアに結びつき、業績にプラス効果



ワーク・ライフ・バランスを自分ごととして考えることができるので、自分と相手の私生活を大切に考え、お互いに助け合える企業文化を生み出します。

# 03

WORK & LIFE

## ワーク・ライフ・バランスに取り組むメリット

### 1. 優秀な人が集まる企業に！

少子高齢化社会で労働人口(働く世代の人の数)は減っています。社員がこれからも長く働きたいと思う、今後入社してほしい若い世代にとっても魅力的な企業であることが大切です。

### 2. 生産性の高い企業に！

仕事以外の時間を充実させるために、短い時間で成果を上げる働き方が当たり前になっていきます。残業代や光熱費のコストを削減。心も体も健康な働き方で、精神面の不調による休業や離職も防ぎます。

### 3. 多様な人が集まる企業に！

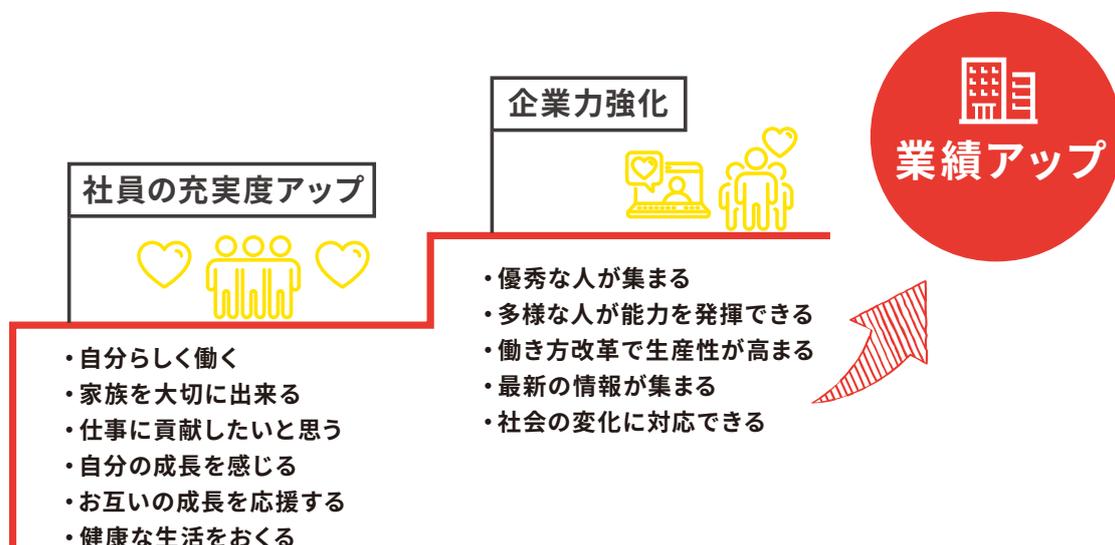
変化の激しい時代、インターネットやパソコンを使った仕事が当たり前になっています。いろんな人の意見や考え方を経営に取り入れて、時代の変化に対応できる持続可能な経営を実現します。

# 04

WORK & LIFE

## ワーク・ライフ・バランスは経営戦略

ワーク・ライフ・バランスは単なる福利厚生ではなく、優秀な人材を確保し、取引先や顧客などから社会的な信用を獲得する、持続可能な経営戦略です。



# 05

WORK & LIFE

## どんな風に進めるの？ 長時間労働からの脱出！

ワーク・ライフ・バランスを企業内で進めていくステップを確認します。自社ではどんな進め方が  
良いか、どのステップが重要かを検討していきましょう。

### 意識改革

全社員がワーク・ライフ・バランスの実現のために働き方見直しの意味をしっ  
かりと理解することが必要です。

経営者や管理職は自分たちから実践して、働き方を変えていくことを社内の共  
通認識にしていきます。必要性を何度も繰り返し伝えます。



「気がついたら元通りの働き方になっていた」というのが社員  
の取組意識を低下させ、次の取組への抵抗感が生まれる一番  
残念な結果です。どうしたら続けられるかのアイデアをたくさん  
用意しておきましょう。

### 業務改善

自社にどんな業務があるのかを確認して可視化し、分類・整理します（業務  
の棚卸）。優先順位をつけ、効果の薄い業務や重複した作業などを見直します。



業務の一覧表やフロー図を作ることを可視化といいます。  
以前からやっている業務だから、やめてしまったら困るかも  
しれないからなどの判断が業務を増やし続けていく結果につ  
ながります。  
重要な業務に集中するためにも常に考えましょう！

### タスク管理

誰がどの業務を分担しているかだけでなく、どのくらいの時間をかけて、得ら  
れる成果はどの程度かなどを確認することが大切です。

現状を把握した上で成果を上げるために必要なことを決定します。



窓口対応や電話対応が多く、書類作成の生産性が低い場合、  
集中して作業できる時間を作ること（集中タイム）や接客マニ  
ュアル作りなどの対策が考えられます。社員の経験や能力に応  
じた具体的な対応をしましょう。

## 制度や 体制づくり

社内の働き方に関するニーズを聞き取り、会社の体制を整えていきましょう。社内の男女比や平均年齢などによって必要な支援は変わってきます。



ワーク・ライフ・バランス先進企業では、生産性の高い働き方の実現と同時に、一人ひとりの事情や両立のしにくさに対応しています。具体的でオリジナルな「制度」や「体制」で働く人のやりがいを応援します。

### 制度例

- 育児や介護の両立における制度  
育児時短の延長など
- 場所にとらわれない働き方の制度  
テレワークや在宅勤務など
- 時間にとらわれない働き方の制度  
時差出勤・1時間単位での有給取得など
- 面談、リフレッシュ制度  
評価を目的としない管理職の部下理解の面談、雑談タイムなど

## コミュニケーション

現場の課題に応じたアイデアを出し合いながら、活動を進めます。自律的なチームになるために、日常のコミュニケーションの質を大切に、安心安全な関係を作ります。情報共有で、誰かが休んでも対応できるチーム作りを実現します。



Google 社プロジェクトアリストテレスでの、安心安全なチームの生産性が高いという研究結果から、改めてコミュニケーションの重要性が見直されています。例えば会議やミーティングの場で誰もが発言できる工夫はありますか？再度見直してみましょう。

**ワーク・ライフ・バランスを実現するためには、**  
経営層の理解、明確な指示や制度作り（トップダウン）  
と、効率的で生産性の高い働き方に向けた社員の自律的  
な行動（ボトムアップ）の両輪で進めていきます。

# ワーク・ライフ・バランス先進企業事例

## 京都府 製造業 Y社

### 進め方

- 推進リーダーがワーク・ライフ・バランス研修やセミナーで学び、社内に周知。
- 営業職など対応しやすい部署から業務改善開始、育児・介護の事情がある社員への個別対応で社内環境を整える。
- 部門を超えて業務を整理・連携中。



### ワーク・ライフ・バランスでこんなに変わりました！

- 「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス認証を取得し、社内外に周知することで若手人材の採用・定着を実現。
- 営業職の働き方見直しからスタート。デジタル化、勤怠管理システムなどを随時導入。
- 在宅勤務や男性上司の育休取得による権限移譲で若手社員・女性社員活躍中。

## 京都府 情報サービス業 S社

### 進め方

- 実家での介護を申請した社員の要望を実現。在宅勤務試行導入。
- 就業規則やテレワークのセキュリティーポリシーの検討。
- 管理職が在宅勤務者へのマネジメントを体験し、課題を抽出。



### ワーク・ライフ・バランスでこんなに変わりました！

- 在宅勤務や1時間単位の有給休暇などの制度があると、安心して働き続けられる環境に。女性社員の離職防止につながった。
- 社内でワーク・ライフ・バランスの周知。周囲の理解と協力を得ながら実施。(社内で不公平感を起こさない工夫)
- 管理職の意識改革。自分ごととしての体験が部下のマネジメントのヒントに。

# Q&A 教えてチャットボット

ワーク・ライフ・バランスより長時間働くほうが業績が上がるのでは？



費用対効果で考えてみましょう。長時間働いて集中力が低下し、時間当たりの業務量が減る、ミスが増えるなどの損失は意外と大きいものです。利益を最大化するためにはコストの削減も大切な視点です。

ワーク・ライフ・バランスでどんなコスト削減ができますか？



長時間労働は過労やメンタルダウンの原因となります。休職や離職で新規に人を雇用するときの採用や教育コストを削減できます。他には残業代、光熱費の削減なども考えられます。

仕事を途中で放り出す意欲の低い社員が増えるのではと心配です



今まで半期や四半期の「期間あたりの生産性」を評価してきたため、長時間働くことが出来る特定の人だけが評価されてきました。「時間あたりの生産性」を評価するようになると、すべての人が公平な評価を受けられるようになり、意欲が高まる社員が増えるでしょう。

## コラム column

### テレワーク

※テレワーク= tele 離れたところで + work 働く

時間と場所の制約を受けない働き方が出来ると、ワーク・ライフ・バランスがより実現しやすくなります。職場以外の場所で、ICTを活用した柔軟な働き方（テレワーク）について積極的に検討していきましょう。



## ワーク・ライフ・バランスの情報窓口

管轄	[認定マーク]	情報サイト
京都府ワーク・ライフ・バランス推進サイト		「京都モデル」ワーク・ライフ・バランスの推進認証制度 <a href="https://www.pref.kyoto.jp/wlbsuisin/">https://www.pref.kyoto.jp/wlbsuisin/</a>
厚生労働省		女性活躍推進企業認定 <a href="https://positive-ryouritsu.mhlw.go.jp/positivedb">https://positive-ryouritsu.mhlw.go.jp/positivedb</a>
		子育てサポート企業認定 <a href="https://www.mhlw.go.jp/">https://www.mhlw.go.jp/</a>
内閣府男女共同参画局		男女共同参画について <a href="https://www.gender.go.jp/">https://www.gender.go.jp/</a>
経済産業省		新・ダイバーシティ経営企業 100 選 <a href="https://www.meti.go.jp/">https://www.meti.go.jp/</a>

## 活用したい支援制度

管轄	情報サイト
総務省	テレワーク推進 <a href="https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/telework/">https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/telework/</a>
厚生労働省	働き方改革支援サイト <a href="https://www.mhlw.go.jp/hatarakikata/">https://www.mhlw.go.jp/hatarakikata/</a>
中小企業庁	ミラサポ plus 中小企業向け補助金・総合支援サイト <a href="https://mirasapo-plus.go.jp/subsidy/">https://mirasapo-plus.go.jp/subsidy/</a>

発行日 令和3年3月発行

発行元 宮津市市民課人権啓発係  
京都府宮津市字柳縄手 345 番地の 1  
TEL 0772-45-1615 / FAX 0772-25-1691  
✉ [jinken@city.miyazu.kyoto.jp](mailto:jinken@city.miyazu.kyoto.jp)

監修・出版 合同会社WLBC関西